

Builder:
HASHIBA KINOIE
(ハシバテクノス)

Note:
上田市/H邸
家族構成/2人



A_駐車場との兼ね合いで緩やかな斜面の一段高いところに建物を計画。外観正面の黒と明るい木の色のバランスが美しい。 **B**_ブドウ畑で作業しながら語り合うHさん親子。 **C**_リビングからもダイニングからも出られるウッドデッキは奥様とおきのくつろぎの場所になった。 **D**_床は室内もこのデッキも、愛犬が滑りにくいものを採用。



父と祖父が託してくれたもの



農家として歩み始める息子に
「かっこええ」とうなる
家を残してあげたい

普段は若い夫婦が二人で暮らす住まいに、やはり県内に住む両親が時折こうして訪ねてきます。

場所は上田市の南西部、南に面した緩やかな斜面の裾にあり、キッチン窓からは、その斜面にブドウとナッツの畑が広がるのを望めます。どちらもHさんが栽培を始めたものです。彼は農家として、さらにワイン醸造家として歩み始めようとしています。

「こっちで一緒にワインづくりをしないか」。そう持ちかけたのは北海道に暮らす祖父でした。その言葉を頼みに農業が学べるかの地の大学に進んだHさんですが、コロナ禍で実習もままならず、当の祖父は痛を患い北海道を離れてしまいました。

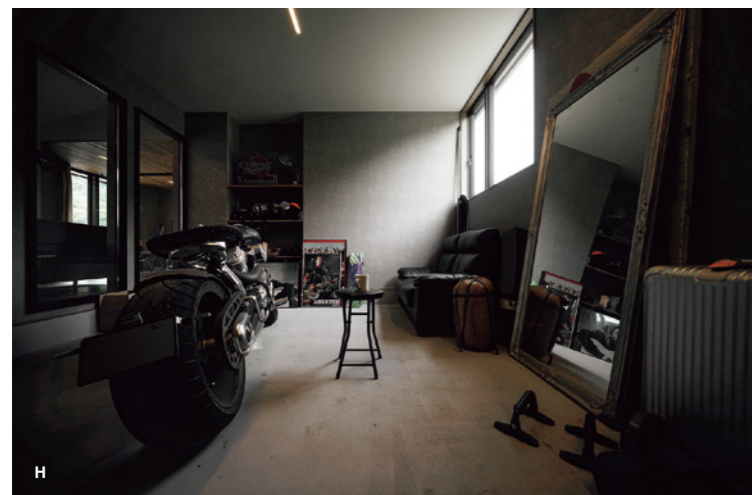
手を差し伸べてくれたのは父でした。上田市に土壌環境を大切にしながらナチュラルなワインづくりにも挑む醸造家がいると教え、「まずここで修業しろ」と言ってくれました。そればかりか、ブドウづくりに適した土地を自らの足で探し求め、畑と自宅は近い方がいいと、この家を作る資金協力をしたのです。実はその時、父も末期癌におかされていました。

「息子が『かっこええ』とうなる家に」と父はHASHIBA KINOIEに住まいづくりを託します。思いの丈を受け止めたのは、自身も早くに親を亡くした設計士です。そして、「かっこええ」を詰め込んだこの家ができました。

「渋いっすわ」と父、
「いてて落ち着く」と息子。
これから始まるワインづくり

地域の人のつながりを大切にしたいから、周辺の景観を壊さないようにと父子から要望があり、外観は後退色にしつつ、表側は明るい色の木を入れて黒の主張を緩和させました。心憎いのはそのバランスです。屋根の形状でも、モダンなカッコよさとパッシブデザインの機能をぎりぎりまで調和させました。

でありながら、水周りや家具の風合い、リビングとガラスで隔てられたバイクガレージに、男前な無骨さが匂います。ダイニングの天井とリビングのそれは高さを変えてあり、ダイニングではその低さが一緒にいる人との親密さを、リビングではその高さが開放感をもたらすことでしょう。手前から奥へと誘われるようにのびていく視線も爽快です。



G_キッチンカウンターでも食事ができる。北に面した窓から望むのはブドウ畑と山の清々しい眺めだ。
H_心を空っぽにしたい時に駆るバイクのためのガレージをリビング隣に設けた。I_ガレージを見通す窓の左には、ワインセラーを置いた。



E_濃い目の木部色と薄いグレーの配色が瀟洒。H邸ではパーティで人が集まる機会も多いという。F_天井高の絶妙な設定で、手前のダイニングからリビング、そして東に面した窓外へと視線がのびやかに抜ける。

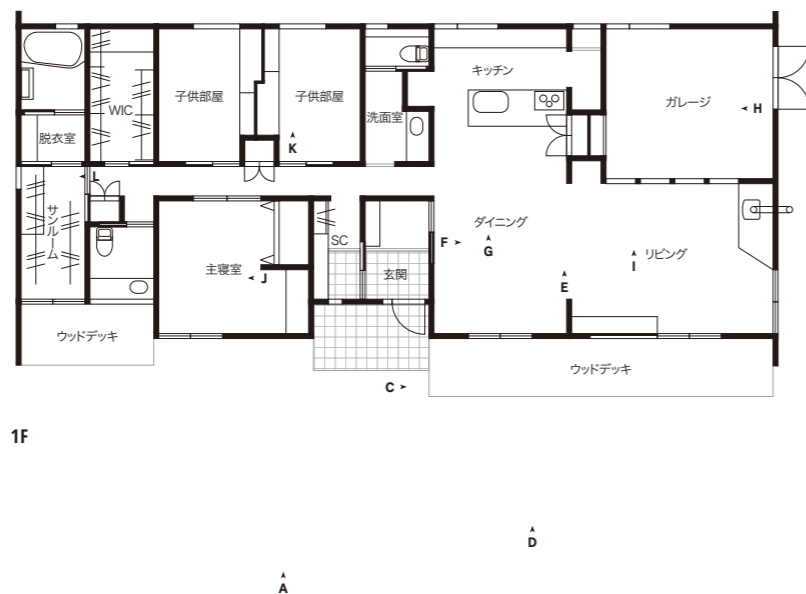


DATA

敷地面積 — 785.84㎡ (237.24坪)
 延床面積 — 157.75㎡ (47.62坪)
 1F面積 — 138.66㎡ (41.86坪)
 ガレージ面積 — 19.09㎡ (5.76坪)
 デッキ面積 — 19.40㎡ (5.86坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ
 基礎 構造材/柱:ホワイトウッド、梁:
 米マツ、土台:ヒノキ 断熱材/天井:
 GreenAirFoam180mm、壁:GreenAir-
 Foam85mm、基礎:立ち上がり:
 GreenEcoFoam90mm・スラブ上:
 GreenEcoFoam45mm 主な外装仕上
 げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:IGサ
 イディング・福杉 主な内装仕上げ/天
 井:EP塗装・ホワイトオーク、壁:シルタッ
 チ・磁器質タイル、床:天然木複合合板フ
 ローリング・複合ビニールタイル 開口部
 /アルミ樹脂複合三層ガラスサッシ・木
 製三層ガラスサッシ キッチン/クリナッ
 プ STEDIA、食洗機ミール キッチン熱
 源/IHクッキングヒーター バスルーム
 /TOTO シンラ 暖房の種類/床下エ
 アコン・薪ストーブ UA値/0.40

PLAN



J_主寝室。外の緑と相まってリゾートホテル
 で過ごすよ。 K_子供部屋は1室を造作
 家具で仕切った。Hさんと昨年結婚した奥
 様との間には今年1人目の子どもが生まれ
 る。 L_左手にあたる南から光の差すサン
 ルーム。洗濯、物干し、片付けの動線が最短
 になるよう工夫した。 M_来年の春、Hさん
 はブドウづくり、ワインづくりの修業を終え、
 一人前のワイン醸造家として歩き始める。
 N_山間の小さな集落に馴染むように建てた
 H邸。祖父から、父から託された仕事と、こ
 こで向き合う。



Owner:
Hさんご家族

Q1. 家づくりで一番大切にしたいことは?

A ゲストを迎えパーティを楽しみながら、家族の将来も見据えてくつろげる住まい。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 薪ストーブの導入、バイクガレージの設置。内装のイメージ。キッチンの窓からの眺め。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A 設計の小松さんに任せられたこと。施工担当の方の、建てた後も含めた対応の良さ。

Builder:
設計担当/小松謙太さん



Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A お父さんの感性にも、息子さんの今と将来の感性にも響くかっこ良さ。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 「かっこええ」となる設え。寒さが気にならない断熱性能、パッシブ設計。パーティでお客様をもてなす空間。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A 要望に応えること。断熱・間取り・空間の工夫。住まい手に似合いそうな家を提案すること。